

第69回：歌舞伎と京劇

中国で働く駐在員にとって、日本からのお客様の接待は大切な仕事である。時期によっては一カ月に30組以上のお客様をお迎えしなければならないこともある。接待の中身はお客様によってまちまちで、ホテルに記念品をお届けするだけで済む場合もあるし、お客様によっては空港への出迎えから始まり、お見送りまでフル・アテンドで随行するケースもある。政治家の接遇は大使館や領事館の仕事だが、忙しい時期になると閣僚、与党大物代議士は在外公館が受け、陣笠代議士や野党は政府系機関の事務所にお鉢が回ってくることもある。お客様と同行する場合も、企業訪問のような公式行事はビジネスのしきたりに従えば良いので簡単である。頭を悩ませるのは、夜の食事や休日の観光案内である。遠慮せず希望をはっきり言ってくれば楽なのだが、ほとんどのお客様は「お任せします」とおっしゃる。これが一番困る。お客様の歯の調子が悪く、固いものが噛めないことが食事中に判明、或いは肉は大好きだが魚が苦手であることを知らずに海鮮レストランに案内してしまった等、駐在員は皆苦い経験がある。そこで自己責任とまでは言わないが、お客様にもリスクの一端を負担して頂きたいと考え、ひところ夕食の手配を依頼されたときは、いつも「庶民的な食堂が良いですか、租界時代の面影を残すレトロな飯店が良いですか、それとも最近評判のグルメ系の餐厅にしましょうか？」と尋ねたものである。こう質問すれば、お客様は必ず回答してくれる。そして案内するのは、とくに予約済みのレストラン。解釈によってはどの回答にも当てはまる一軒を予め決めておき、早い話が選択肢は3つだが、答えは1つしか用意していなかったのである。こんな詐欺師のような手口で、上海では何時もお客様を楊家厨房(Yang's Kitchen)という上海・寧波レストランに案内したものである。幸いこの店、お客様に大好評で、トリックはバレずに済み、いつの間にか「地球の歩き方」にも載るようになった。昨年久しぶりに当店で食事したが、場所がエキゾチックなプラタナスの大通りから、繁華街に移転しており、味も昔のような切れ味がなかったのが少し残念であった。

筆者の本業は金融業務であり、呑むか喰うかに煩悶しても仕方ないので、この類の手配は常に即断即決で処理していた。レストランを選ぶ基準は、味と値段にサービス、そして場所しかないのである。因みに場所とはお客様のホテルに近く、かつ駐在員の住まいにも近いという地の利を意味する。ところが、駐在員にもユニークな人物がいるようで、知人に奇抜な料理や演芸付きレストランが大好きな駐在員がいた。いまでも業界の語り草になっているが、サービス精神が極めて旺盛なようで、生まれて初めて中国を訪問した人を、北京空港で拉致して、いきなりウイグルの料理屋に連れ込んだりする。お客さんだって吃驚する。ブドウ棚をかたどった宴会場には油でテカテカ、ギトギト黒光りするテーブルが並び、その隣には大きなドラム缶が屹立し、サダム・フセインの兄弟のような顔つきの少数民族が、直径1メートル位のドラム缶の鉄板にマトンやラム肉をぶち込みジュウジュウと焼いている。仕方ないので馬のションベンのようなぬるいビールを飲みながら、焼肉にかぶりついていると、突然アタマのてっぺんにキンキン響くエキゾチックな音楽が流れ始め、アラビアンナイト風の衣装をまとった碧眼の女性達が登場して踊り出す。ここは北京であってイスタンブールではない。窈窕嬋娟たる西域の佳人も悪くはないが、東夷の国から中華にやって来たと思っていたら、突然

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。

1/3



東洋証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第121号
日本証券業協会 加入
本社所在地 〒104-8678 東京都中央区八丁堀 4-7-1 03-5117-1040

中華をパスして西戎に連れて行かれるのは若干辛いものがある。日本でもそうだが食事をしながら観劇するレストランの料理は駄目だ。食事は食事、観劇は観劇と分けて楽しむべきであるが、時間の都合上で、やむなく観劇レストランを選ぶのであれば、せめて中国らしい京劇や雑技などにすべきだろう。

そのユニークな駐在員のアレンジで、一度断り切れず京劇付きの食事に付き合ったことがある。食事は予想通り、貧民も三舎を避けるレベルだったが、京劇「三岔口」は大変面白かった。日本語で「さんたこう」と読むそうだが、本邦の歌舞伎十八番に相当する有名な作品である。歌舞伎もそうだが西遊記、三国志演義など人口に膾炙している作品をベースに、そのなかの名場面、例えば諸葛孔明が泣いて馬謖を切り、武松が酔って老虎を退治する等、日本の「安宅の関」のような場面がドラマ化されているのである。この作品は宋王朝が異民族・契丹の「遼」に立ち向かう「楊家将演義」を題材にしている。往来の三差路に位置する宿屋で、官憲に追われる豪傑を匿う宿屋の主人と、豪傑を探しに来た親友が、互いを敵だと誤解して闇夜のなかで死闘を演じるという芝居である。最後に主人の妻と豪傑がランプを持って登場し、お互いに仲間だと知り大団円を迎えるのであるが、この立ち回りが素晴らしい。俳優たちは激しい打楽器のリズムに合わせて凄まじい殺陣を披露する。テレビドラマ水戸黄門シリーズのような殺陣ではなく、若い頃のジャッキー・チェンが演じたような迫真の真剣勝負である。そのなかで、時に音楽が止むと俳優は動きを止めて大げさにミエを切る。その瞬間、向こう正面から好！（ハオ～！）と掛け声がかかるのは歌舞伎の「成田屋！」「日本一！」と一緒にいる。日本と違うのは、誰が掛け声を出しても構わないようだ。京劇が少し厄介なのは、いろいろな約束事があり、例えば色によって主役、脇役が区別されている。テーブルはベッドを意味し、馬が登場せずとも手に鞭を持てば騎乗したと理解する必要がある。くれぐれも中国人はテーブルの上に寝る習慣があると誤解しないで頂きたい。

何事も TPO は肝心である。歌舞伎も同様であり、こその冬、荒事を得意とする成田屋の御曹司が歌舞伎座改修中のため、やむなく深夜の西麻布で助六を演じてしまった。それは迫真の演技だったという目撃者談もあるようだが、どうも感心できない。花川戸の助六といえば江戸の英雄である。吉原の傾城たちから次々に渡される火のついたキセルを受け「このように、めいめいご馳走にあずかっちゃ、しんぞ火の用心が悪うごんしょう」と見栄を張る助六が、ヒゲの意休や八王子の炭焼き売炭の齒っ欠け爺なんぞに殴られては江戸文化の実もふたもないのである。（了）

文中の見解は全て筆者の個人的意見である。

平成23年1月25日

筆者プロフィール

杉野光男

東洋証券株式会社 主席エコノミスト

一橋大学商学部卒、三菱信託銀行(現三菱UFJ信託銀行)入社、上海華東師範大学へ留学

同行北京駐在員、上海駐在員事務所長、理事中国担当部長を経て、2007年より現職

著書 日本常識は中国の非常識(時事通信社)、中国ビジネス笑劇場(光文社)等

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。

2/3



東洋証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第121号

日本証券業協会 加入

本社所在地 〒104-8678 東京都中央区八丁堀 4-7-1 03-5117-1040

ご投資にあたっての注意事項

手数料等およびリスクについて

株式の手数料等およびリスクについて

- 国内株式の売買取引には、約定代金に対して最大1.2075% (税込み) (約定代金が260,869円以下の場合、3,150円 (税込み)) の手数料をいただきます。国内株式を募集、売出し等により取得いただく場合には、購入対価のみをお支払いいただきます。

国内株式は、株価の変動により、元本の損失が生じるおそれがあります。

- 外国株式等の売買取引には、売買金額(現地における約定代金に現地委託手数料と税金等を買の場合には加え、売りの場合には差し引いた額)に対して最大0.8400% (税込み) の国内取次ぎ手数料をいただきます。外国の金融商品市場等における現地手数料や税金等は、その時々々の市場状況、現地情勢等に応じて決定されますので、本書面上その金額等をあらかじめ記載することはできません。

外国株式は、株価の変動および為替相場の変動等により、元本の損失が生じるおそれがあります。

債券の手数料等およびリスクについて

- 非上場債券を募集・売出し等により取得いただく場合は、購入対価のみをお支払いいただきます。

債券は、金利水準の変動等により価格が上下し、元本の損失を生じるおそれがあります。外国債券は、金利水準の変動等により価格が上下するほか、カントリーリスク及び為替相場の変動等により元本の損失が生じるおそれがあります。また、倒産等、発行会社の財務状態の悪化により元本の損失を生じるおそれがあります。

投資信託の手数料等およびリスクについて

- 投資信託のお取引にあたっては、申込(一部の投資信託は換金)手数料をいただきます。投資信託の保有期間中に間接的に信託報酬をご負担いただきます。また、換金時に信託財産留保金を直接ご負担いただく場合があります。

投資信託は、個別の投資信託ごとに、ご負担いただく手数料等の費用やリスクの内容や性質が異なるため、本書面上その金額等をあらかじめ記載することはできません。

投資信託は、主に国内外の株式や公社債等の値動きのある証券を投資対象とするため、当該金融商品市場における取引価格の変動や為替の変動等により基準価格が変動し、元本の損失が生じるおそれがあります。

株価指数先物・株価指数オプション取引の手数料等およびリスクについて

- 株価指数先物取引には、約定代金に対し最大0.0840% (税込み) の手数料をいただきます。また、所定の委託証拠金が必要となります。
- 株価指数オプション取引には、約定代金、または権利行使で発生する金額に対し最大4.20% (税込み) (約定代金が2,625円に満たない場合は、2,625円 (税込み)) の手数料をいただきます。また、所定の委託証拠金が必要となります。

株価指数先物・株価指数オプション取引は、対象とする株価指数の変動により、委託証拠金の額を上回る損失が生じるおそれがあります。

ご投資にあたっての留意点

取引や商品ごとに手数料等およびリスクが異なりますので、当該商品等の契約締結前交付書面、上場有価証券等書面、目論見書、等をよくお読みください。

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。

3/3

